

西大寺防災キャンプ2016【防災クイズ】

第1問 （料理をつくっている時）地震が発生した時は、絶対に火を止めることを優先する（原田さん）

答え：×

まずは自分の身を守るために、机の下にもぐったり、頭を守ったりしましょう。
無理に火を消すのは危険です。

第2問 海の近くにいる時、大きな地震を感じました。揺れがおさまっても危険なので、その場でじっとしておいたほうがよい（原田さん）

答え：×

地震の後には津波が来る可能性があります。海のそばからすぐに離れ、高いところに避難しましょう。また、避難した場合、津波警報が解除されるまで戻ってはいけません。

第3問 西大寺小学校の校庭は海拔1.6メートルである（岡崎さん）

答え：○

各小学校の海拔

西大寺小学校 1.6メートル

雄神小学校 2.5メートル

西大寺南小学校 1.1メートル

豊小学校 1.4メートル

皆さんの町内には必ず1つ以上その地点の海拔高が表示されています。

岡山港の満潮時の平均高は プラス1・36メートル

南海地震による津波予想高は プラス2.6メートルです。

第4問 南海地震が発生した場合、西大寺中学校区（みなさんの住んでいる地域）の予想震度は、震度5弱である（岡崎さん）

答え：×

予想震度は震度6弱です。

※ 震度6弱：立っていることが困難になる、程の揺れ。

ちなみに、地震の震度は、0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7、の10段階で、これ以上はありません。

第5問 緊急地震速報の音が鳴ってから5秒後に地震で揺れる（猪原）

答え：×

地震が発生して強く揺れることを、音とともに言葉や文字で知らせるのが「緊急地震速報」です。最大震度5弱以上の地震で、震度4以上が予想される地域で発表されます。地震の発生場所が近いと、音と同時に揺れる場合、音より先に揺れる場合もあります。

TVやラジオは「チャアラーン チャアラーン」、携帯電話各社共通「ブッブッブ ブッブッブ」です。

第6問 家族がはなればなれのとて、大きな地震がおきました。携帯電話で連絡すればよい（大西さん）

答え：×

災害時、携帯は通じないことがあります。ふだんから家族で災害が発生したときの集合場所を話し合い、家にいるとき、会社・学校にいる場合など、場面ごとに決めておきましょう。

第7問 NTTの災害用伝言ダイヤルの番号は171である（大西さん）

答え：○

災害用伝言ダイヤルは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。毎月1日、15日や、お正月三が日などで体験利用ができます。

第8問 地震の後、避難場所へ逃げる時は、せまくても近道を使う（猪原）

答え：×

ブロック塀や自販機など倒れてきそうなもの、屋根の瓦など落ちてきそうな場所から離れて、広い道を通りましょう。

（窓ガラスやがれきなどが道に散らばっているかもしれないので、けがをしないために厚底の靴を履いておきましょう。）

(予備問題)

⑨ 大人1人に必要な飲料水は1日3リットルである(大西さん)

答え：○

大人1人に必要な飲料水は1日3リットルです。災害後に備えて、7日分は備蓄をしておきましょう。水の配給を受けるためのポリ容器などがあると便利です。

⑩ 地震が発生した場合には、噂話にしっかり耳を傾ける。(原田さん)

答え：×

うわさ話は憶測やデマの可能性ががあります。ラジオ等で正確な情報が聞けるように、準備しておきましょう

⑪ 南海トラフ地震が発生した場合、津波が岡山の沖に到達するのは2時間30分後である(岡崎さん)

答え：○

⑫ 避難グッズを入れた非常持ち出し袋はすぐに持っていけるように玄関に置いておく。(猪原)

答え：○

出口に近い場所におきましょう。また、車のトランクや外の物置など、いくつかに分けておくのも効果的です。